



若者に寄り添う

ヤングテレホン相談・就労サポート

若者やその家族が悩みを相談できる専用ダイヤルと、就労への一歩を支援する窓口があります。

問い合わせ

青少年課・青少年センター（市庁舎3階、☎65・4161）

ヤングテレホン相談

誰かに話を聞いてほしいと思っても、内容によっては、家族や友達、学校の先生には知られたくないこともあるかもしれません。

帯広市では、若者やその家族が抱えるさまざまな悩みの相談窓口として、ヤングテレホン相談を設置しています。昭和54年に設置して以来、多くの人々から相談が寄せられています。

職場や学校での人間関係が半数

昨年度は、職場や学校での人間

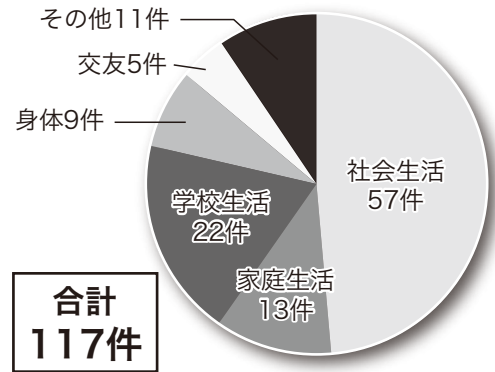
ひとりぼっちじゃないよ

ヤングテレホン 相談専用電話

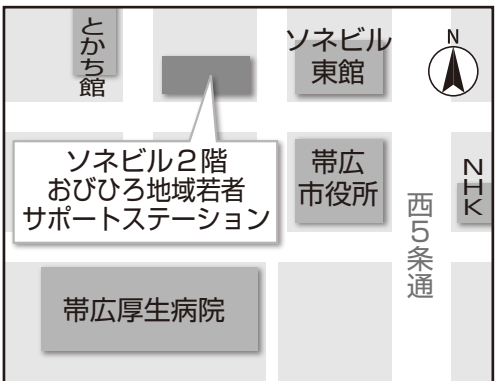
☎22・8349

E-mail young@city.obihiro.hokkaido.jp

図 平成27年度の相談状況



サポートステーション位置図



と、その保護者や家族（就労相談は、おおむね15歳～39歳）相談方法

電話やEメール、青少年センターでの面談
受付日時
月～金曜日、9時～17時30分（祝日、年末年始を除く）

地域若者サポートステーション

働くことに困難を抱える若者の就労を支援するため、「地域若者サポートステーション」が今年オープンしました。働きたいけれど、就労への一歩を踏み出せない人が、コミュニケーション訓練や就労体験、自信の回復など、キャリアカウンセラーなどの専門相談員による支援を受けることができます。気軽に相談してください。

対象者

15歳～39歳で、現在、仕事に就いていない人
受付日時
月～金曜日、9時30分～17時30分（祝日を除く）
問い合わせ

お問い合わせ

おおびろ地域若者サポートステーション（西6南6、ソネビル2階、☎67・5202）

市長コラム

夢かなうまち おびひろ

「まつり」がつなぐもの

帯広市長 米沢 則寿



まつりはまた、幅広い世代や立場の方々が協力し、地域の活性化に向けて取り組む大切な機会でもあります。とりわけ帯広では、平原まつりの「けんかみこし」や「夢降夜」、氷まつりの「氷の文化祭」をはじめ、若者たちが企画・運営に主体的な役割を果たす「場」が提供されてきました。

まつりの成功という目標達成のため、仲間が力を合わせて知恵を出し、人を巻き込み、実践してゆくことで、地域のリーダーが育つ。彼らを模範として、さらに次のリーダーが育つ。こうした好循環が、世代を超えた一体感を生み、まちの活力につながってきていると感じています。

平原まつりの中核的な担い手も、先輩方の寛容さにより参加機会を与えられ、実践を重ねてきた20～40代へとバトンタッチが進みました。その若い世代の発案により、今年のまつりは、プレオープンとして13日からスタートし、学生などによる音楽ライブや、おいしい地場産食材を楽しめる飲食ブースのほか、盆踊りの審査に市民投票を取り入れるなど、新たな試みも予定されています。

これからも、まつりを通して、人と人、人と地域、昔と今がつながり、未来に向けた新たなエネルギーが生まれてくることを願っています。今年、花咲くコンサート、十勝ジンギスカン会議、花火大会など、管内イベントとの相乗効果も期待されます。十勝・帯広の夏は多くの人たちでにぎわい、ますます熱くなりそうです。皆さんもぜひ会場に足を運び、まつりを満喫していただければと思います。